

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



産まれた子ヒツジを抱いて喜ぶ、ブルキナファソ・タンギエマ村のサウドゴ・マリウムさん

私は、タンギエマ村の女性グループのリーダーをしているサウドゴ・マリウムといいます。「緑のサヘル」がタンギエマ村でプロジェクトを行ない、とりわけ女性に対して貧困解消のための働きかけをしてくれたことに感謝します。

私たちは、いつも収入を増やしたいと願っていましたが、何かを始めようとする、まずそのためのお金が必要になります。こちらにも女性を対象とした小額資金貸付の制度はあるのですが、私たちのような村の女性にとってはとても利用しづらいものです。

今回、私たちが支援を受けて取り組んだ羊の飼育・販売の活動は、とても上手くいきました。メンバーの一人ひとりが、責任を持って羊の世話をしました。また販売によって、定期的な利益を得ることが出来るようになりました。

当初私たちは、羊の飼育・販売がタンギエマ村の女性たちの役割を向上させるものだとは思っていませんでした。しかし、販売によって得た利益で学費の支払いや日用品の購入などが出来、家族の生活に大きく貢献することになりました。私たちは、この活動をこれからも続けていくつもりです。

最後になりましたが、「緑のサヘル」と JICA ブルキナファソ事務所の皆様に、メンバーの女性たち一同、心からの感謝を申し上げます。

タンギエマ村女性グループ リーダー
サウドゴ・マリウム

2013年を振り返って

緑のサヘル 代表理事 岡本敏樹

10月になってから肌寒く感じる日が多くなり、朝晩のひんやりとした空気と共に1年の終盤が近づいていることに気づかされます。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

2013年は、現地情勢に翻弄されました。1月早々にマリ共和国において武装勢力による侵攻が発生し、フランス軍の展開と国連軍が派遣される事態になりました。同月アルジェリアでは、油田施設に対する襲撃・人質事件が起こりました。これらの事件は、西アフリカ全域に緊張をもたらし、「緑のサヘル」がプロジェクトを行なっているブルキナファソでは、セキュリティリスクが引き上げられ、9月中旬までプロジェクト実施地に行けませんでした。

2011年に発生した一部軍人による騒乱の時も同様でしたが、事態が好転する展望が得られず、行き場のない焦燥感を募らせる日々が続きました。これまでに、耐え忍ばねばならない機会は多々ありましたが、今回はことさらに長く重苦しいものでした。

それでも、プロジェクトを実施しているブルキナファソの現場では、現地の協力団体の方々による丁寧な作業のもと、住民たちはそれぞれの活動に着実に取り組み、成果を出すことが出来ました。2013年は降雨が順調だったこともあり、栽培地に設置を進めているディゲット（石堤）やザイ（堆肥穴）農法の効果が発揮され、穀物の収穫は良好でした。蜜源保護区や植林地の管理もきちんとなされており、校庭に植えられた苗木は長期休暇中であっても生徒や保護者によって管理作業が行なわれていました。女性たちは元気で、生まれた子羊を抱き上げて笑顔を見せてくれました。これまでと変わらぬ生活が、そこにありました。

国際協力に限ったことではありませんが、自分の力ではなんとも出来ないことにしばしば直面します。打つ手は無く、変化を待つしかありません。分かってはいるのですが、自らの働きかけに効果がないという状態は、何かにのしかかられているようで、居心地が悪いものです。しかし、今回のブルキナファソにおける住民や協力団体の動き方を見て、自分の力を頼みと出来ないときには相手を信じることで、任せておくことが大切なのだと改めて感じました。



現地協力団体の代表と一緒に村廻り。

このようなことはブルキナファソの現場に限ったことではなく、日本でも同様です。東日本大震災の被災地支援・復興に取り組んでおられる方々は言うまでもなく、日常的な場面でも人々の思いや働きが、かくもつながり、建設的なものになるのかと、心強く思う機会がたくさんありました。なんとはなくですが、この先に伸びていくものが見えた気がします。

その年を振り返るとは、ただ出来事や結果を検討することに留まらず、自分が何を感じて考えたのかを省察することでもあります。そこには未熟な自分が常に居り、恥じ入るばかりです。踏み出すべき先が見当たらず、時によろけてしまうこともありましたが、皆様からのご支援のおかげで、今年も倒れずに歩き続けることが出来ました。心から感謝を申し上げますと共に、寒さが募り始める時期ですのでくれぐれもご自愛下さい。



ブルキナファソでは現在、雨季が終わり、次第に気温が下がりつつあります。この時期には、ミレットやソルガムといった穀物とササゲや落花生などの作物が、収穫期を迎えます。収穫物があふれる市場は、現地の方々に賑わっています。

JICA 草の根技術協力事業



タンギエマ村に設置した蛇籠。

タンギエマ村のディゲット（石堤）グループのメンバーの栽培地では、強い水流による土壌流出が激しく、穀物を作付け出来ない場所があります。ディゲットでは流出を抑えることが出来ないため、蛇籠の設置を行ないました。

蛇籠は、大小の石を金網で包み込んだもので、日本でも河川工事の護岸などに利用されていますが、今回は高さ1メートルほどに積み上げました。下部を地面に埋め込むため、ディゲットよりも強い水流にも耐えることができます。

今回設置した場所を昨年10月に視察した際には、流水によって土壌が失われ、樹木の根がむき出しになっていましたが、1年後の今年9月、同じ場所を訪れてみると、設置された蛇籠70基の効果が発揮され、むき出しになっていた根に砂（土壌）が被さっていました。

水流が弱まり、土壌が堆積したことにより、穀物を作付けできるようになりました。設置に要した現地の方々の苦勞が実りました。



むき出しだった根が砂で埋まりました。



生まれた仔羊を抱くメンバーの女性。

ロルガ村、タンギエマ村、タンポンガ村の3村では、女性グループが飼育用の羊の村内生産に挑戦し、今年は3村で64頭のかわいい仔羊が誕生しました。

このうちタンポンガ村とロルガ村では10月のタバスキ（イスラム教の犠牲祭）前に、羊が販売されました。得られた収益のうち、一部は家庭の支出に使われますが、女性グループの活動資金として金額を決めて積立てられています。

女性たちは日々の家事をこなすだけでも大変なのですが、その向上心は強く、心強い限りです。

ブルキナファソから 2



小学校緑化支援プロジェクト



植栽されたニームの苗木のまわりでは、ササゲが栽培されています。

9月に、今年の6～7月にかけて各小学校が校庭に植栽した苗木の状態を視察しました。どの小学校でも丁寧に苗木が植えられ、順調に成長していました。

長期休暇（夏休み）中のため、視察時には生徒や先生はいませんでした。この間も生徒や保護者の方などが水やり等の管理作業をしています。小学校ごとに植林の仕方が異なり、巡回をしながら各校の工夫を見ると、いろいろな発見があります。

コラ小学校では、校長先生が以前プロジェクトで開催した研修に参加した際、苗木を植栽したところでは作物を育てることができることを学び、今年はニームの苗木のまわりでササゲ栽培を始めました。小学校では、ササゲを生徒たちの給食に利用しています。生徒たちが栄養のある給食を食べられるようになり、良い効果が出ることを期待しています。

チャドから



民族対立が続くダルフル地域からの避難民が流入しています

2004年から2009年にかけて続いた内戦を避けるため、国境を越えてスーダン・ダルフル地域で生活していた数万人のチャド人が、8月以来、自分たちの土地であるチャド南東部ティレ地域に帰還しています。しかし、喜びの帰還ではなく、ダルフル地域で発生した民族間の武力衝突を避けるためです。また、もともとダルフル地域に住んでいた約3万の人々も、避難してきました。

難民が流入してきた地域の自然資源はもともと豊かではありません。その地に生活しているチャドの人たちにとっても、水や森林資源は常に不足しており、厳しい暮らしをしています。危険を避けてやってきた人々も、受け入れた人々も、共に先行きの見えない不安な毎日を送っています。この地域の情勢は、まだまだ流動的です。

（写真：ダルフル地域から避難してきた家族。）



写真: UNHCR

国内活動



今年の秋は、「グローバルフェスタ」、「よこはま国際フェスタ」、また「世界食料デー」の特別企画として行なった電通でのパネル展示等、イベントが目白押しでした。

中でも電通本社のエントランスで行なったイベントは、「世界食料デー」月間に参加する NGO/NPO や国際機関が日替わりで社員や一般の方々と交流を深め、「みんなで食べる」ことを考えるというもので、多くの皆さんとお会いする機会があり、「緑のサヘル」の活動などをお話することができました。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

8月	22日(木)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席	(岡本)
	30日(金)	途上国森づくり事業「貧困削減のための森づくり」支援部会 (主催：海外林業コンサルタンツ協会、国際緑化推進センター)	出席	(岡本)
9月	20日(金)	「世界食料デー月間」月例ミーティング	出席	(岡本)
	27日(金)	「サヘル地域支援（砂漠化対処に関するコミュニティ支援）」のための公開勉強会（共催：国際協力機構、地球・人間環境フォーラム）	報告	(岡本)
10月	5日(土)	グローバルフェスタ 2013（～6日）	参加	
	16日(水)	盛岡市立下橋中学校 講演（2年生 99名）	講演	(菅川)
	17日(木)	盛岡市立下橋中学校 事務所訪問（2年生 5名）	担当	(菅川)
	19日(土)	よこはま国際フェスタ 2013（～20日）	参加	
	22日(火)	世界食料デー特別企画@電通エントランス	参加	
	25日(金)	鳥取大学講演「サヘル地域における砂漠化防止と緑化の取り組み」	講演	(岡本)

鳥取大学乾燥地研セミナーでの講演

10月25日、鳥取大学乾燥地研究センターの主催により、「サヘル地域における砂漠化防止と緑化の取り組み」と題したセミナーが開催され、当団体代表の岡本が講師を務めました。あいにく当日は、台風のため激しい風雨となりましたが、研究者や学生の方々15名が参加しました。

このセミナーでは、岡本より「緑のサヘル」がプロジェクトを行なっているブルキナファソの現状について説明がなされた後、実施地の住民が直面している問題に触れ、「環境問題は生活問題である」との認識を持つことが大切である点が強調されました。また、具体的な活動も紹介され、現在だけではなく将来の生活も意識した取り組みを行なう必要があることも説明されました。



その後も、多くの参加者から講演終了予定時間を過ぎてても尽きないほどの質問が出される等、活気に充ちたセミナーとなりました。



2014年カレンダー絶賛発売中！！



既に購入いただいた皆様より、「風景がきれい」、「衣服が素敵」、「子供がかわいい」等、多くの感想が寄せられています。

まだご購入がお済みでない方も、同封のチラシ、もしくは電話、FAX、メールでぜひご注文ください。

尚、カレンダーを1冊ご購入いただきますと、苗木10本を植えることができます。また丈夫な金属カマドを1世帯に1つ設置できます。

サイズ：A4 変形（広げた時 A3 変形）、印刷：オールカラー28 ページ、価格：1 部 1,000 円（税込み）
送料 200 円（全国一律・何部でも）

【緑のサヘル オリジナル・カレンダー取り扱い店 一覧】

東北	エコロジー&フェアトレード おいものせなか	岩手県花巻市
中部	楽器屋 JUNJUN	新潟県新潟市
関東	紀伊國屋書店 新宿本店	東京都新宿区
	紀伊國屋書店 新宿南店	東京都渋谷区
	オリオン書房 立川ルミネ店	東京都立川市
	Tisus d'Afrique de l'ouest 「アフリカ屋」	東京都荒川区
	輸入雑貨 梅田洋品店	東京都港区
	カフェギャラリー&窯「ばおばぶ」	神奈川県横浜市
関西	紀伊國屋書店 梅田本店	大阪府大阪市
通販	民族楽器店 ジェンベ	兵庫県神戸市
	アフリカ専門輸入販売「アフリカンスクエア」 楽天店	—

インターン終了 ありがとうございます。



東京事務局のスタッフの皆様、ボランティアの皆様、6ヶ月の間本当にお世話になりました。

大学を卒業してから青年海外協力隊の派遣前訓練開始までの期間を利用したのインターンでしたが、おかげさまでとても充実した日々を過ごすことができました。

日々の生活、青年海外協力隊としての2年間も、またその先も、「緑のサヘル」で学んだ経験を生かし、自分にできることを精一杯やっていきたいと思います。（山田 真裕美）

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

菊地博子／小川あい子／高松千枝子／室井光子／片岡稔／手嶋千恵子
帯瀬憲五／本多れい子／守脇竜彦／金明希／西山範之／手嶋康
こじまこどもクリニック／株式会社ホーム創建

【 ご寄付を頂きました 】

小林宏至／小林美穂子／賀川麻衣／丹邦子／碓井道子／松田曜子／中尾康子
小川あい子／佐藤京子／巨友子／小池昌子／村上和代／三浦貞彦／澄田静
諏訪弘美／手嶋康／田中ちえ子／平井一子／内田一三／榎本みつ枝
宇都宮英士／イケ典子／小林伸張／木嶋清江／佐貫眞木子／杉本敏行／氏岡治代
小笠原弘子／青野茂雄／伊藤雄高／葛原睦子／加藤治郎／山口朋子／藤田美穂
個別教育フォレスト安多秀司／株式会社グリムス／有限会社セイントアロー／isave
盛岡市立下橋中学校／盛岡市立下橋中学校 2 年 3 組／株式会社良品計画

他 匿名をご希望の方 4 名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

岡本美智子／村上和代／川村ミヨ子／町千恵子／岩永孝子
盛岡市立下橋中学校 2 年 3 組

上記は 2013 年 8 月 1 日から 10 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2013 年 11 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アクトシステム株式会社／(社)日本経済団体連合会／(公信)地球環境日本基金
isave(シーブ株)／住宅エコポイント／アフリカ料理 トライブス
(財)農村更生協会 ハケ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス



画像を提供しました

有限会社システムズ 西宮市広報映像「未来へつなぐ ふるさと西宮」



「緑のサヘル」からお知らせ

BOOK募金に参加しています！

「緑のサヘル」は、(株)プレジャーワークスが
行なうBOOK募金に参加しています。

使わなくなった書籍やCD、DV
Dなどを(株)プレジャーワークス
にお送りいただくと、その買取代金
がNPO/NGOに寄付される仕組み
になっています。皆さんのお家で使
用されずに眠っているもので、気軽
に国際協力してみませんか？



詳しくは、以下のホームページをご覧ください！

HP: <http://bookbokin.jp/>
(TEL: 053-437-0102)

ホームページのトップを一新しました！

「緑のサヘル」のホームページのトップが新しく
なりました！ 見やすく改善し、活動写真をふん
だんに使用しているので「緑のサヘル」の活動も
わかりやすくなっています。

皆さん、是非ご覧ください！

「緑のサヘル」HP: <http://sahelgreen.org/>

【 もくじ 】

- | | |
|---------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・2013年を振り返って | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

●アフリカ大陸のあちこちで日食が見られました。ちょ
うどブルキナファソに居たのに、うっかり見逃してしま
いました。残念です。(岡本) ●先日、2週間の岩手講
演を終え、東京に戻って来ました。サケの産卵、白鳥の
渡来、そして雪。郷里はすっかり冬でした。(菅川)
●W杯2014のアフリカ予選でブルキナファソは勝ち
残っていましたが、最終予選でアルジェリアに敗退。W
杯出場の夢が破れた…(田村) ●事務所の界隈は江戸
時代から続く薬問屋街。10月に薬祖神祭がありました。
ビルの屋上祭られている薬祖さんは因幡の白兔を助
けた大穴牟遲神。振舞のお汁粉が絶品でした。(本所)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに
充実しました。これまでの手作りチーズとアイス
クリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソー
セージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術か
ら生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地
への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の
20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご
住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量を
ご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局まで
ご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.56

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 田村典子 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041